

令和3年度 課の運営方針書

産業振興部 農林課

1 課の運営方針

【課の使命】

- 産業として魅力ある農林業を構築し、次代を担う多様な後継者の育成・確保します。
- 森林資源の適切な管理と有効活用により、林業の成長産業化を推進します。
- 6次産業化を推進することで、女性や若者が活躍できる場を創出します。

【課の目標】

- ①持続可能な農林業を目指し、集落営農法人等の経営力強化を図るとともに、若者を中心としたUJIターン就業などにより地域の担い手の確保を推進します。
- ②生産基盤であるほ場整備などを計画的に推進し良好な営農条件を備えた農地や水路等農業用施設を確保します。
- ③木質バイオマス材原料の効果的・安定的な供給を図るため、生産体制の整備を推進するとともに、林業経営の効率化と森林管理の適正化を図ります。
- ④シティプロモーション事業と連携し地域産品のブランド力の強化や消費拡大を図るとともに、6次産業化等による新商品開発を推進し、地域の経済循環及び活性化を図ります。
- ⑤鳥獣被害防止対策を推進します。
- ⑥地方卸売市場が将来にわたり安定的で持続可能な事業運営を行うため、市場運営の方針等を明確にし、活性化に向けた取組を進めます。

【働き方改革による業務改善等の取組み】

- 担当内業務状況の「見える化」を行い、担当者間での業務の偏りを共有し、業務量の平準化に努めます。
- 情報共有、進捗状況の把握、正副担当の連携など、組織が一体となって事業を推進します。
- 業務の平準化、組織体制の一体化を進めることで、各自が働き方改革の意識を高めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

- (農政担当) 農業振興に必要な施策を推進することで、地域農業を担う多様な担い手を育成・確保します。
(6次産業化・地産地消担当) 「第3次周南市地産地消促進計画」に基づき、6次産業化及び地産地消を推進します。
(農林整備担当) 農村が持つ多面的機能を維持・発揮するため、地域資源の適切な保全管理や農業生産基盤の整備を推進します。
(森林・有害鳥獣対策室) 森林の効果的な活用及び有害鳥獣被害防止対策を効率的に実施します。
(地方卸売市場) 地方卸売市場の管理運営及び施設維持管理を行います。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	30人	うち	正職員	26人	・	会計年度 任用職員	4人	人件費	正職員	188,786千円	会計年度 任用職員	6,980千円
-----	-----	----	-----	-----	---	--------------	----	-----	-----	-----------	--------------	---------

※R1職員平均給与(7,261千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	395,397千円	歳出予算額	833,621千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	58事業
-------	-----------	-------	-----------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり 6 産業・観光 1 農林水産業の振興 1 新たな担い手の育成と確保	国・県の事業を活用しながら、就農意欲のある人たちの移住・定住を推進し、新たな地域農業の担い手を確保します。 【認定新規就農者数:36人】(累計) 【集落営農法人雇用者数:37人】(累計)
2	活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり 6 産業・観光 1 農林水産業の振興 2 生産基盤の整備	区画整理や水路・農道などの農業生産基盤や、集落道路などの生活環境基盤の整備を一体的に行い、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図ります。また、老朽化した農業用施設の改修により、その機能を回復するとともに災害の発生を未然に防ぎます。 【ほ場整備面積:880ha】
3	活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり 6 産業・観光 1 農林水産業の振興 3 生産体制の強化と販路の拡大	木材チップやペレット等木質バイオマス材の原料の効果的・安定的な供給を図るため、木質バイオマス材の生産体制の構築を市有林でモデル的に行います。 【木質バイオマス材生産量:3000m ³ 】 林業経営の効率化と森林の適正化を促進するため森林経営管理制度の推進を図ります。森林環境譲与税の活用に係る基本方針に基づき、森林の整備及びその促進に関する事業を推進します。
4	活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり 6 産業・観光 2 地域ブランドの推進 1 地域製品のブランド化	「しゅうなんブランド」認定品をはじめとする農林水産物・加工食品等の地域産品において、市内外における認知度の向上に取り組みます。また、シティプロモーション事業と連携して効果的に情報発信し、ブランド力の強化及び消費の拡大を図ります。 【新商品開発:2件】
5	活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり 6 産業・観光 2 地域ブランドの推進 2 6次産業化の推進	生産者自身による6次産業化の取組みだけでなく、地域産業と連携した新たな商品開発や販路開拓など、第1次産業から6次産業化に向けた取組みを支援します。 【6次産業化チャレンジ支援事業支援件数:R6年度累計11件】 【総合化事業計画認定件数:R6年度累計4件】
6	活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり 6 産業・観光 2 地域ブランドの推進 3 地産地消・地産外販の推進	道の駅「ソレーネ周南」を中心に市内直売所と連携し、地域経済の活性化を図ります。また、「しゅうなんブランド」のリーダー商品を中心に、地域産品の利用促進を図るとともに、都市圏等で開催されるイベントや商談会等を活用して売込みの強化を図ります。 【市外店舗における新規取り扱い商品数:5品】 市民に安心して安全な生鮮野菜等を地元や産地から集積し、公正な取引により、適正な価格で、できるだけ早く消費者のもとに安定して供給するとともに、消費者の消費動向の変化や生産・流通構造の変化に対応するため、卸売業者、仲卸業者、買参人等の市場関係者と協力し、地方卸売市場の活性化を図ります。【市場取扱高:42億円】

7	活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり 6 産業・観光 1 農林水産業の振興 5 有害鳥獣被害防止対策の推進	地域住民と共に各地域の実状に合った被害防止策を推進し、住民意識の醸成及びより効果的な被害防止を図ります。
8	活力と魅力に満ちた賑わいのあるまちづくり 6 産業・観光 1 農林水産業の振興 4 農林水産資源の適正管理と活用	人・農地プランに基づき、農業経営の拡大・効率化を進める担い手への農用地の利用集積・集約化を図ります。 【実質化された人・農地プラン数:21地区】
9	安心して健康に暮らせるまちづくり 4 安心安全 1 災害に強いまちづくりの促進 2 防災対策の充実	地震や集中豪雨などによる災害の防止、農村地域の防災力の向上を図るため、計画的に防災・減災事業を実施します。 【ため池ハザードマップ作成:42箇所】